一般財団法人日本規格協会

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、次ページ以降の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

※選定基準 3（産業標準化の利点・欠点）各コードの内容につきましては、
下記リンク先の 5～6 ページにてご確認いただけます。
「産業標準案等審議・審査ガイドライン」
URL　https://www.jisc.go.jp/jis-act/pdf/shingishinsa-guideline.pdf

産業標準案作成対象テーマ一覧（改正）

認定機関	産業標準作成委員会	制定／改正／廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由（必要性）	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1（JIS法第2条の産業標準化の対象）	選定基準2（JIS法第1条の法律の目的）	選定基準3（産業標準化の利点・欠点）	選定基準4（国が主体的に取り組む分野の判断基準）	選定基準5（市場適合性に関する判断基準）	JIS素案作成委員会（WG）	作成開始予定
JSA	11 産業機械	改正	B8009-5	往復動内燃機関駆動発電装置－第5部：発電装置	Reciprocating internal combustion engine driven alternating current generating sets -- Part 5: Generating sets	この規格は、往復動内燃機関と交流発電機とが一つの装置として作動する場合の、その組合せに起因する用語の定義及び設計上の基準について規定したもので、ISO 8528-5の第3版(2013年発行)を基として2017年に改正された。その後、ISO 8528-5は、発電機及び内燃機関の技術の進展に伴い、2018年、2022年及び2025年の3回にわたって改訂されてきた。特に2025年のISO改訂では、電圧変調率の定義に関する日本提案が採用されている。これまでの3回の改訂を経て、ISO 8528-5の2025年版（以下、対応国際規格という。）とこの規格とは技術的に大きく乖離しており、また、この規格は市場の実態からも乖離している。このような状況を踏まえ、対応国際規格を基にしてこの規格を改正する必要がある。	この改正によって、最新の技術をJISに導入することが可能となり、品質の改善が期待できる。また、国際規格との整合を図ることにより、国際的な商取引を円滑に進めることが期待できる。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義並びに記号において、最新の発電機及び内燃機関の技術情勢に合わせるため、多数の用語及び定義の追加（グリッド系統運転関連など）、また、定義の見直し（電圧変調率など）を行う。 ・規格の構成を見直し、過周波数特性の規定を3.2に移動する。 ・回転不整率の規定において、技術の実態に合わせ、電圧変調率の定義を見直す。 ・並列運転の規定において、グリッドとの並列運転の規定を追加する。 ・発電装置の性能に影響を与えるその他の要因の規定において、最新の内燃機関の技術動向に合わせ、排気後処理装置の規定を追加する。	－	ISO 8528-5:2025 Reciprocating internal combustion engine driven alternating current generating sets -- Part 5: Generating sets	IDT	第2条の該当号： 1（性能、品質） 対象事項： 往復動内燃機関駆動発電装置	法律の目的に適合している。	利点： ア、キ 欠点： いずれも該当しない。		国際規格をJIS化するもの	日本内燃機関連合会のWG	2026年4月